

# 青少年ゴュー仏跡ツアーII ニイハオ！マイブツダ



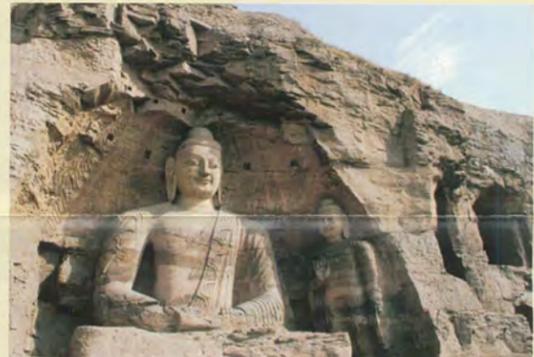
浄土宗児童教化連盟では去る3月26日～31日まで、浄土宗のたどってきた道を訪ね、また青少年の国際理解を深め、日中友好を深めるため「青少年ゴュー仏跡ツアーII ニイハオ！マイブツダ」を実施しました。参加者は青少年6名を含む22名がそれぞれ東京と大阪から出発しました。

山西省大同市の世界遺産で中国三大石窟の雲崗石窟を訪れました。大きな石仏を見て、圧倒されるとともに自然と手が合わさりました。

太原では中国浄土教の聖地、玄中寺を参拝しました。玄中寺は四七二年に創建された古いお寺で、お念仏のルーツの場所でもあります。

玄中寺では、参加した青少年を対象に帰敬式（仏教入門の儀式）が、厳やかな雰囲気の中で、また多数の現地の信者たちの見守る中で執り行われました。帰敬式に参加した青少年たちは、導師の佐藤理事長から数珠と袈裟を授けられ、気持ちも新たにお念仏を唱える浄土宗徒として明るく正しく仲良く生きていくことを玄中寺のご本尊の前で誓いました。

玄中寺では、参加した青少年を対象に帰敬式（仏教入門の儀式）が、厳やかな雰囲気の中で、また多数の現地の信者たちの見守る中で執り行われました。帰敬式に参加した青少年たちは、導師の佐藤理事長から数珠と袈裟を授けられ、気持ちも新たにお念仏を唱える浄土宗徒として明るく正しく仲良く生きていくことを玄中寺のご本尊の前で誓いました。



第8号  
発行  
浄土宗児童教化連盟  
事務局  
〒590-0935  
大阪府堺市堺区  
神明町東3-1-40  
法伝寺内  
TEL・FAX  
072-233-5354

## ぽっかぽか日記 「名前の話」



わしの名前はゲジゲジ和尚という。ゲジゲジまゆ毛だからそう呼ばれておる。ちゃんとした名前は別にあるぞよ。

この間、ある会でのことじゃ。パフレットに載っているわしの名前の字が間違っていたんだ。自分の名前が一文字でも違っていたりすると、まるで別の人みたいになってしまうもんじゃ。わしはその時何も言わなかったが、近くにいた人が気づいて主催者に伝えてくれたようなんだ。すると担当の人が飛んできて「申しわけありませんでした」と頭を下げてあやまってくれたよ。

他人の名前を間違えうというのはそれほど失礼にあたるということなんだ。

みんなにも名前がついてるだろう。お父さんやお母さんがつけてくれたのかな。もしかしたらおじいさんやおばあさんがつけてくれたのかも知れないのお。

みんなは自分の名前はお気に入りに

それぞれの名前には親の願いがこめられているはずだ。赤ちゃんの時から何千回何万回もその名前を呼ばれたり、話しかけられたりしているだろう。

一度自分の名前のいわれをお父さんやお母さんに聞いてみるといいな。もつともつと自分の名前が好きになるかも知れないぞ。友だちの名前もそうだ。一人一人の名前は違っているも、その名前にこめられたお父さん、お母さんの願いは一緒だ。

「ナムアミダブツ」って聞いたことがある人は手を挙げてほしいよ。これはな、阿弥陀仏という仏様の名前を呼ぶということなんじゃ。「ナム」はお願ひしますという意味でな、「ナムアミダブツ」(アミダさま、お願ひします)とお称えすると、アミダ様は「わたしの名前を呼んでくれてるなあ」と喜んで、みんなのことを守ってくださると思うぞ。

（浄土宗社会国際局長 谷地玄雅）



玄中寺のご住職は「中国にはこのような青少年を対象にした法要がない。これからはこういう教化が必要になってくる」と語り、また参加者に対しては、「未来は君たちの両肩にかかっているのだから、頼むよ」と話しかけておられました。

西安では香積寺というお寺をお参りしました。このお寺は善導大師という浄土宗にとって大切な方のゆかりの場所です。また地元の中学校の美術の授業を参観し、また学生との交流会を開催、琴などの楽器の演奏、武術の披露があり、日本の青少年たちに自分たちの書や絵がプレゼントされました。日本側からは歌の合唱でお返しし、うらかな春の午後、和やかなひとときを過ごせました。



### しぜんがっこう はなずみ つく イキイキ自然学校・花炭を作ってみよう

日本レクリエーション協会  
インストラクター

ながめ きいちろう  
永目喜一郎

用意する物、たき火をするためのまき、直径10cm高さ15cm位のフタのついた空かん、モミガラ、細い針金1m位、マツポックリ。

最初にまきを燃やしてオキを作ります。オキができたらかんの底に2~3cm位モミガラをしきます。その上にマツポックリを乗せてすきまのないようにモミガラを入れます。かんが動いたりひっくりかえった時のクッションにもなります。



フタの中央部分に小さな穴を開けます。釘と金づちで簡単に開きます。次にかにフタをかぶせて針金を縦に2回ほど巻いてフタがはずれないようにします。フタの中央部分に輪っかを作っておくと後の作業が楽になります。これで準備OK。

尖ばさみを使ってオキの中央にかんを入れる空間を作ります。熱いから注意してやります。次にそこへかんを入れ、かん全体をオキでつつむようにします。フタの上にもオキを乗せて下さい。こうしてかん全体に熱が加わるようにします。この時フタの穴が見えるようにしましょう。

10~20分位たつと穴から青いけむりが出てきます。炭化が始まったのです。しばらくすると青かったけむりが透明になります。そうになったら5~10分待つてから、かんを取り出します。この時かんの内部は1200度位になっていますので冷えるまで20分位待ちます。すぐにフタを開けると内部に火がおきて燃えてしまいます。冷えたらペンチで針金を切って、そおとフタを開けてみます。モミガラが真っ黒になっていたら成功です。皿の上に黒くなったモミガラを出して炭になったマツポックリを乗せて完成です。

火を使いますので絶対に子どもだけではしないで下さい。やけどをしたり火事になったりしますので必ず大人の人と一緒にためして下さい。

## 「ニイハオ！マイブツダ」に参加して 小川れをな

中国へは、わずか4時間で到着しました。とても近く感じましたが、その北京から大同までは5時間近くものバスの移動で、やはり中国は大陸で広大だと感じました。また中国は、人々も皆大きくゆったりしています。私などただでさえ小柄なので、男性も女性も、皆見上げるようです。浄土宗の故郷、玄中寺を訪ねた時も、お相撲さんのようなご住職で、体格も立派で、いただいた二連の数珠も、輪袈裟も手に余る大きさでした。ここ、玄中寺は、法然上人様の

先生の善導大師様が学問に打ち込まれたお寺で、私たち子どもは、帰敬式を行なっていただき、本堂の阿彌陀様の子どもになりました。旅の途中、バスや列車の車窓から雄大な景色の移り変わりが楽しめましたが、その中でも西安に向かう夜行列車からの景色は、強く印象に残っています。半砂漠のようなところを列車はゆっくり進みます。所々忘れ去られたように人家が見えます。その家の窓にうっすらと明かりがともっています。よく目を凝らしてみ

と、その明かりはランプの明かりのようです。このあたりはまだ電気が引かれていないのです。来年、北京ではオリンピックが開かれますが、農村部ではまだまだ生活は厳しいのでしょうか。今回の訪問団は子ども向けとはいえないものの、子どもだけで参加したのは、私と弟だけでした。正直少し不安でしたが、理事長先生の底抜けの明るさと、事務局長先生やぶくぶくさんの満面の笑顔に支えられて無事に過ごせました。ありがとうございました。来年は韓国への訪問を予定しているそうです。二月の大学入試を乗り越えて、笑顔で是非参加したいと思いま

# ナムナム

## 質問箱

### 質問

このあいだ、おばあちゃんとお寺にお参りに行きました。法然上人の像をみると頭の後ろに丸い輪がありました。天使の輪かと思っただのですが、何でしょうか？  
(大阪 小学校5年)

### 答え

あった、あった、ありましたね。丸い輪が！阿弥陀様の左におまつりされている法然さまにも、右におまつりされている善導大師さまにも、丸い輪がありましたよ。うーむ、確かに天使の輪のように見えるかも…。

それではおこたえいたしましょう。この輪のことを仏教では、背中の方にある光と書いて、「光背（こうはい）」と言います。

光背は、仏様やお浄土に生まれた方々の尊さを表す特徴の「相（そう）」というものの一つであります。尊き方の身体から発する「光明（こうみょう）」を、形にしたものなのであります。中でも頭部のものを「頭光（ずこう）」、身体部のものを「身光（しんこう）」と言います。だから法然さまや善導大師さまの光背は、頭の後ろにあるので「頭光」ってことになりますね！

また光背のことを、仏像の後ろがわにある光ということで「後光（ごこう）」ともいいますよ。『あの人は、後光がさしているようだよ』なんて言い方を聞いたことがあるでしょう。他人のために尽くせる立派な人のことをたたえて、そのような言い方をするのですよね。

でも光背は、法然さまのように丸いものだけではありません。「頭光（ずこう）」と身体部の「身光（しんこう）」とをくつつけた大きな光背もあります。

そう！阿弥陀様のお背中にある、大きな一枚の蓮華の花のようなもの光背なのです。

「南無阿弥陀仏」とお念仏する人を、極楽までお運びいただく船のような形（舟後光）だとも言われています。そのほかにも、燃え盛る炎をかたどった火焰光背（不動明王の光背）。

頭光と身光を丸く表し、かさねた形二重円光（大日如来の光背）。宝珠光（観音さまの光背）。放射光（放射状の光を表現する光背）。水煙光背（水煙を表す光背）など様々ありますよ！

その尊さを表す光明を、形にしたものが「光背」だってことはわかったかなあ！そうそう、「天使の輪」も仏教の「光背」とよく似たもので、光輪（こうりん）・円光（えんこう）とよばれているようです。

それでは、これから仏さまをお参りするときには、後ろの光背にも気をとめてお参りしてみましよう。

※「オーラ」ってのがありますが、これは人間や物体が放出する雰囲気や霊気などのことを言うようですので、おましがいのないようですね。



イラスト by 池田 敦

## みんな、できるよ！ てあ ほうほう かつ 手当ての方法（やり方） 出血（しゅっけつ）



体の中には、体重1キロにつききおよそ0.08リットルの血液が流れている。体重30キロの人は24リットル、40キロなら32リットル、50キロなら4リットル。体が大きく、体重が増えると血液も増える。逆に、小さい子は血液量が少ない。15キロのこどもならたった12リットルしか持っていない。

人間は、持っている血液量の三分の一を一度に失うと死亡するほどもある。出血量が多くなればなるほど重症なのだ。体重15キロの



こどもなら0.4リットルを失うだけで命が危険になる。たった牛乳ビン2本の量で。

だから、たくさん血が出ている傷は早く血を止めなくてはならない。

### ○手当て

- (1) ハンカチ・手ぬぐいなど手近にあるきれいなもので、血が出ているところを強く押さえる。
- (2) 手・足なら、その傷のあるところを上にあげる。
- (3) 押さえて上げた状態のまま、救急車かおとなを呼ぶ。
- (4) 手当てのあと、自分の手を石けんをつけてよく洗う。

### \*前回の「のどつまり」について

ピーナッツとコンニャクゼリーはおとなの食べもの、と書きました。読者よりの質問に答えます。

ピーナッツは子どもの歯ではなかなかかみ砕けません。何かの拍子に吸い込んでしまい、気道をふさいでしまいます。子どもの気道とピーナッツはほとんど同じ太さなので、いったんふさがると前回の手当てをしても取れません。病院でも取りにくいのです。ですから、おとなになつてから食べましょう。

コンニャクゼリーはダイエット食品です。子どもがダイエツトする必要はありません。その上、コンニャクゼリーはピーナッツ以上にのどつまりをおこしやすいのです。

君も達人になれる

# 仏事をマスターしよう!

## 第7回 お香 (その3 塗香・触香)

お香は仏さまにお供えするだけではありません。いろいろなものを清める為にも使います。

今回は、体を清めるお香についてお話しましょう。

お香を使って体を清めるのには三つの方法があります。お香を直接体に塗る方法、お香の煙で体を清める方法、そしてお香の入った水を用いる方法です。

お香を直接体に塗る方法を塗香といいますが、細かく砕いた粉のようになったお香を体に塗って自分自身を清めます。塗香によって心や体の汚れを取り除くので、仏教徒のルール

である「戒」を守り、迷いの心を取り除くありさまに例えられます。

お香の煙で体を清める方法を触香といいますが、中で香が焚かれて

象の形をした香炉(本来、白色ですが黒のものもよく使われています)

を足でまたぎ、たちのぼる香の煙で全身を清めます。

最後のお香の入った水(香水)を使う方法(「うろろ」といいます)を使う方法は、皆さん自身ですることは殆どありません。お寺のご住職がお作法をされますので、ここでは触れません。

お香の煙や香りのように、すがすがしい気持ちで仏さまに手を合わせる事ができるように、日々心がけていものです。

これも仏教の言葉だよ!

## おおげさ 大袈裟

ものごとを実際より大きく言う事を「おおげさなことを言う」といいます。この大げさは、あるお坊さんが、ひととき大きなお袈裟を着ていたことからきています。

あまり大げさな事はばかり言っていると大切な事を忘れてしまいますよ。

## うろろろろろ

よく、うろろろしたらダメ、って言われるよね。この「うろろ」は、煩惱があるという意味なんだよ。

だから、うろろろしていたら、悪い事をしたり、出会ったりするのだよ。だから、まっすぐ家に帰ろうね。



寺田 剛

前回の答え...  
・お坊さんの手  
・左上の花びら  
・雲の数  
・チョウチョの飛んだあと  
・左から3つめのチューリップの色...の5つです。  
みんなわかったかな?



# ちがいさがし

みんなどう考えよう



夏まつりの季節だね。右の絵と左の絵のちがうところを5つさがしてください。

正解者の中から30人のみんなに記念品をプレゼントします。どしどし応募してくださいね。お待ちしています。  
しめきりは平成19年9月1日です。

送り先  
〒590-0935  
大阪府堺市堺区神明町東3-1-40  
法伝寺内  
「イキイキコドモタイムズ」クイズ係  
FAX 072-233-5354  
Eメール puk-puk@wifo-so-net.ne.jp

\*住所・氏名・学年を忘れずに書いてください。「コドモタイムズ」の感想も書いてね。

ぷくぷく編集室



はしか(麻疹)が流行しました。はしかウイルスによつて感染する伝染病です。人のせきやくしゃみなどから感染します。うつつてから十日前後で高熱やせきなどの症状が出るようです。

日本では五十年前ほど前までは毎年数千人の人が亡くなっていました。最近では予防接種などで減ってきましたが、それでも毎年数千人の人が亡くなっています。

はしかによく効く薬はなく、予防接種とって、はしかにかからないように予防するのが一番よい方法といわれています。

日本は先進国の中では、はしかにかかる人が多く、二〇〇〇年の患者の内、アメリカの八十一人に対し、日本は二万二千四百九十七人だったそうです。どうして日本がそれだけ多いのでしょうか。不思議ですね。

特に今年は十〜十四歳ではいつもの年の三倍の患者が出ています。また大学生も多くなつていて、大学が休みになつたりもしました。早く特効薬が開発されればいいですね。

